

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 51, Nos. 1~12 (2009)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 「原子力」という言葉によせて：鷺田清一，1.
- 時論 ITERの使命；今世紀半ばの実用化を目指して：池田 要，2.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，4.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第7回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅲ)—中性子利用研究の新展開：大山幸夫，池田裕二郎，新井正敏，森井幸生，14.
- 解説 将来の再処理に適した技術の選定と開発方針；FBR移行期サイクルに適した再処理プロセス技術の調査と開発方針の検討：塚田毅志，井上 正，20.
- From Editors, 25.
- 解説 社会に信頼される原子力を目指して—原子力と社会の共進化：山野直樹，藤井靖彦，水尾順一，鳥井弘之，26.
- 新刊紹介 間違いだらけの原子力・再処理問題：塩谷洋樹，31.
- 連載講座 今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第8回)Ⅶ.核融合材料のメソスケールシミュレーション：蕪木英雄，鈴木知明，板倉充洋，32.
- 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第16回)今後の軽水炉の開発(2)—導入計画中の軽水炉②：緒方善樹，大久保 努，39.
- アクティブフリートーク 実績を積み上げることが，信頼と社会的受容につながる；現役世代に，原子力についての想いを語っていただきました：大井川宏之，谷川尚司，西崎崇徳，樋口奈津子，石橋すおみ，44.
- 新刊紹介 理科少年が仕事を変える，会社を救う：笹平 朗，49.
- 解説 安全な海上輸送の実現に向けて；独立行政法人海上技術安全研究所の取組み：谷澤克治，小田野直光，50.
- シニアの自論 第二の原子力時代に適合した原子力関係法規の整備を：宅間正夫，56.
- 世界に飛躍するわが国原子力産業界への期待と提案：石井正則，57.
- 50周年記念公募企画記事 学会と共に歩む原子力研修センターの50年：杉本 純，58.
- 発見後半世紀過ぎた人形石の近況：武藤 正，59.
- タイムカプセル記事 我々は今，何をなすべきか。：黒木慎一；夢の原子炉の実現をめざして：堺 俊郎，60.
- 談話室 核分裂は誰が発見したのか？(その2)—ベルリンでの化学的発見，クングエルブでの理論的解明：河田東海夫，61.
- 地球温暖化の世紀に原子力が目指すもの：山崎亮吉，63.
- 支部便り 関東・甲越支部 第3回原子力オープンスクール「未知との遭遇，アトムの世界」実施報告：荻野晴之，65.
- 会議報告 OECD/NEA-NSC 第9回加速器遮蔽専門家会合：坂本幸夫，中村尚司，66.
- Web アンケート 放射線の利用と展望の記事が好評；Web アンケート結果(9月号)，67.
- ジャーナリストの視点 北海道と原子力発電：西沢隆之，68.
- 英文論文誌(Vol. 46, No. 1)目次，69.
- 会報 原子力関係会議案内，主催共催行事，専門委員会活動状況，会員情報新システムご案内，主要会務，70.

## No. 2 (2月号)

- 巻頭言 手腕と頭脳：中桐 滋，73.
- 時論 DOEの原子力諮問委員会に参画して；原子力技術立国・日本への提言：“時は今だ！急げ！”：植松邦彦，74.
- 生命圏の安全保障；科学・政治の双方を凝視する学問領域開拓を：吉田文彦，76.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，78.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第8回)量子ビームが切り拓く未来(Ⅳ)—光量子・放射光利用技術のフロンティア：水木純一郎，青木勝敏，小池雅人，横山啓一，88.
- 解説 核拡散抵抗性と保障措置；次世代核燃料サイクル設計における核不拡散対策の基本的考え方：久野祐輔，J. S. CHOI，94.
- 新刊紹介 物質会計：収支原理，検定理論，データ検証とその応用：久野祐輔，99.
- 報告 原子力廃棄物を考える国際市民フォーラム—処分地問題の解決に向けて；廃棄物処分場立地フィンランド，韓国，フランス，カナダからの報告と日本の今後の進め方を考える：末廣利恵，河田朱実，100.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第1回)軽水炉プラントにおける水の役割と水化学制御：内田俊介，106.
- 軽水炉プラント—その半世紀の進化のあゆみ；(第17回/最終回)今後の軽水炉の開発(3)—超臨界圧水冷却炉と低減速

- 焔：山田勝己，大久保 努：112.
- シニアの自論 地球温暖化抑制には原子力利用分野の拡大を！：齋藤伸三，117.  
原子力の社会受容性の向上のために；「社会システムとしての原子力」を考える：林 勉，118.
- 50周年記念公募企画記事 グローバル時代—原子力事業統合：植松真理マリアンス，119.
- タイムカプセル記事 「原子力は地球を救う」の夢を持ち続けて：駒野康男；原子カルネサンス：谷口大輔，120
- 巻頭言アーカイブ (最終回)就任にさいして：野澤豊吉，121.
- 談話室 核分裂は誰が発見したのか？(その3/最終回)—公平さを欠いたハーンのノーベル賞単独受賞とその背景：河田東海夫，122.  
山越え谷越え……おお，海だあ！マキシマラソンを走って：守屋隆史，124.
- 私の主張 わが国の原子力に活力を取り戻すために：豊田正敏，126.
- 会議報告 50周年の節目を迎えた制御核融合研究；第22回IAEA核融合エネルギー国際会議報告：菊池 満，128.  
OECD/NEA「第10回アクチノイドと核分裂生成物の分離変換技術情報交換会議」：山岸 功，129.
- 支部便り 関東・甲越支部 若手研究者16人が，さまざまなテーマで発表；第7回若手研究者発表討論会：平杉亜希，130.
- Web アンケート NEWSや書評もがんばっています；Web アンケート結果(10月号)，131.
- ジャーナリストの視点 「平和」への問いを：山田大輔，132.
- 英文論文誌(Vol.46, No.2)目次，133.
- 会 告 本学会創立50周年記念事業計画 ご案内とお願い：50周年記念事業実行委員会，134.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，人事公募，「2009年春の年会」見学会，主要会務，135.

### No. 3 (3月号)

- 巻頭言 原子力は気候変動・エネルギー問題；同時解決の切り札！：柳井俊二，139.
- 時 論 日本型合意形成モデルの構築に向けて；スウェーデン・フランスにおける中立機関とその取り組み：松田美夜子，140.  
原子力政策を取り巻く現状と方向性：高橋泰三，142.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，144.
- Nuclear News を見て 従来の常識を覆す機能性錯体(Pac-Man 分子)が拓く未来：斉藤拓巳，152.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第9回)高レベル放射性廃棄物の地層処分をめざして—トイレなきマンションから持続可能な社会へ：清水和彦，153.
- From Editors, 159.
- 解 説 核兵器なき世界に向けて；グローバル・ゼロ軍縮会議：遠藤哲也，160.
- 報 告 韓国と東南アジア3カ国の原子力開発；第16回環太平洋原子力会議(16PBNC)より：中杉秀夫，松井一秋，164.  
原子力に対する不安とは？—それにどう対処するのか；日本原子力学会シニアネットワーク連絡会(SNW)第9回シンポジウム報告：林 勉，金氏 顕，石井正則，169.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第2回)水化学の基礎—腐食と電気化学：原 信義，173.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第9回)Ⅷ.壁が作る燃料をどうするのか：深田 智，小田卓司，178.
- 解 説 宇宙探査とエネルギー；原子力エネルギー利用の歴史・現状・将来：星野 健，183.
- タイムカプセル記事 世界中で原子力が利用される未来へ：石渡祐樹；社会知識の質を上げるための責任：久郷明秀，189.
- シニアの自論 マスコミを味方に原子力理解の促進を：小川博巳，斎藤 修，190.  
学校教育充実への提言；先生の地位向上と感動を伝える授業：荒井利治，191.
- 談話室 高浜の温かい愛の証し：朴 榮先(パク・ヨンソン)，192.
- 私の主張 原子力立地地域のネットワークを!!：栗野明雄，194.
- 会議報告 インドの聖地アラハバードの国際会議：澤田哲生，196.  
第7回核融合エネルギー連合講演会；核融合は地球を救えるか：林 巧，197.
- 新刊紹介 原子力発電の歴史と展望：澤田哲生，198.
- Web アンケート 日本独自の技術は，どのように活用されているか；Web アンケート結果(11月号)，199.
- ジャーナリストの視点 手で触れ実感できる原子力発電を：水上 創，200.
- 英文論文誌(Vol.46, No.3)目次，和文論文誌(Vol.8, No.1)目次，201.
- 「2009年春の年会」みどころ：編集委員会，203.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，平成21年度新役員候補者ご推薦のお願い，平成20年度日本原子力学会「奨学生」の決定，新入会一覧，新規導入の会費支払い方法について，主要会務，208.

- あいさつ 創立50周年を迎えて：岡 芳明, 213.  
創立50周年記念事業を企画して：工藤和彦, 214.
- 祝 辞 創立50周年に寄せて：近藤駿介, 215.  
日本的原子力専門知の追究：鈴木篤之, 216.  
日本原子力学会創立50周年をお祝いして：金澤一郎, 217.  
日本原子力学会と共に歩んだ50年：岡崎俊雄, 218.  
日本原子力学会創立50周年にあたって：清水正孝, 219.
- 祝辞 Congratulations Mohamed Elbaradei, 220 ; Luis E. Echavárri, 221 ; Join-In LEE, 222 ; William E. Burchill, 224 ;  
Guanxing Li, 228.
- 50周年企画記事 次世代軽水炉開発の構想と展開；世界標準を獲得し得る次期軽水炉開発の経緯と現状：都筑和泰, 笠井 滋, 守屋公三, 鈴木成光, 新井健司, 229.  
次世代原子炉と燃料サイクル研究開発；実用化に向けたFBR サイクル開発の推進：永田 敬, 一宮正和, 船坂英之, 水田俊治, 名倉文則, 234.  
原子力の社会的受容性とコミュニケーション：木村 浩, 239.  
反原発運動の興隆とその後；原子力をめぐる世論と反対運動の変遷をたどる：佐田 務, 244.
- タイムカプセル記事 テキサスに ABWR を！～高まる日本への期待～：立岩健二；量子ビーム科学・技術への期待：  
松浦祥次郎, 249.
- 部会活動 炉物理部会 炉物理研究の歩みと役割；臨界実験が果たした意味とこれから：松村哲夫, 松浦祥次郎, 森 貴正, 250.  
核融合工学部会 核融合炉の実現を目指して；国際研究協力と我が国の立場：清水昭比古, 254.  
核燃料工学部会 人間中心の核燃料科学一次の50年を考える：岩田修一, 258.  
バックエンド部会 放射性廃棄物の安全な処理処分を目指して；幅広い研究分野を結ぶバックエンド部会：出光一哉, 262.  
ヒューマン・マシン・システム研究部会 ヒューマン・マシン・システム研究の展開：高橋 信, 五福明夫, 266.  
熱流動部会 熱流動部会の現状と展望：三島嘉一郎, 山口 彰, 成合英樹, 270.  
放射線工学部会 放射線工学部会14年の歩みと今後；放射線をキーワードとして：中村尚司, 石橋健二, 平山英夫, 275.  
加速器・ビーム科学部会 原子力の中の加速器・ビーム科学；Identity・国際化・医学物理・若手奨励：上坂 充, 278.  
社会・環境部会 開かれた原子力学会へのさきがけ；水先案内人としての社会・環境部会：諸葛宗男, 三島 毅, 木村 浩, 282.  
保健物理・環境科学部会 保健物理・環境科学部会の活動と今後の展開：米原英典, 飯田孝夫, 内田滋夫, 小佐古敏荘, 286.  
核データ部会 世界をリードする核データライブラリーを目指して；核データ研究活動と核データ部会：井頭政之, 馬場 護, 渡辺幸信, 片倉純一, 須山賢也, 290.  
材料部会 ニュークリア・マテリアル；産業基盤技術：木村晃彦, 294.  
原子力発電部会 原子力発電部会の活動状況および原子力発電の今後の展望について；原子力発電の安全性および信頼性の更なる向上を目指して：豊住健司, 三葛武文, 河島弘明, 向 和夫, 畠沢 守, 清水俊介, 298.  
再処理・リサイクル部会 再処理・リサイクル部会の活動；開発支援と情報発信を目指して：深澤哲生, 田中 知, 井上 正, 天野 治, 野村茂雄, 302.  
計算科学技術部会 原子力における計算科学技術の未来；計算科学技術部会の取組み：高木敏行, 巽 雅洋, 山口 彰, 吉村 忍, 笠原文雄, 306.  
水化学部会 水化学の現状と今後の展開；プラント運転の安全性・信頼性の一層の向上を目指して：布施元正, 内田俊介, 勝村庸介, 荘田泰彦, 瀧口英樹, 310.  
原子力安全部会 原子力安全部会の設立と今後の活動計画：班目春樹, 阿部清治, 澤田 隆, 314.  
海外情報連絡会 海外情報連絡会の歩みと将来に向けて；グローバル化時代における期待と役割：堀 雅夫, 山内 澄, 千崎雅生, 318.  
学生連絡会 学生連絡会活動報告；自由な交流・意見交換を広げる活動：鈴木 将, 嶋田和真, 320.  
原子力青年ネットワーク連絡会 原子力青年ネットワーク連絡会(YGN)の歩みと将来の取組み：田川明広, 石寺孝充, 322.  
シニアネットワーク連絡会 シニアネットワーク連絡会の活動報告；学生の夢啓発, 一般市民の理解促進に奔走：竹内哲夫, 金氏 顕, 324.  
核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会 原子力平和利用推進における核不拡散の重要性；原子力学会における核不拡散連絡会の活動：久野祐輔, 鈴木美寿, 勝村聡一郎, 326.  
(社)日本原子力学会 歴代会長：328.  
日本原子力学会事業概要(平成11～20年度)：330.

学会資料 学会略年表(1999～2008年)；年度別会員数の推移；支部・部会別会員数；支部(地区)別会員数；学会財政比率の推移；年度別年間収支額の推移；「春の年会」「秋の大会」における発表件数・参加者数と分野別内訳；英文誌・和文誌への投稿状況：333.

編集を終えて 原子力の50年：堀池 寛；数々の難関を一体感で乗り越えてできあがった50周年記念特集：近藤吉明；これから何をすればよいのか？考えるヒントとなることを願った：白川典幸；過去と今、そして未来とを紡ぐことをめざして：佐田 務，350.

「2009年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，352.

会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，「第41回(平成20年度)日本原子力学会賞」受賞決定，平成20年度(第2回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成21年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，英文論文誌(Vol. 46, No. 4)目次，日本原子力学会「正会員・学生会員」ご入会案内，主要会務，353.

後 付 日本原子力学会創立50周年記念広告

## No. 5 (5月号)

巻 頭 言 エネルギーと原子力：伊賀健一，361.

時 論 原子力機器材料の歩みとルネッサンスへの対応強化：佐藤育男，362.  
理研仁科センターとRIビームファクトリー：矢野安重，364.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，366.

座 談 会 共生から創発へ；高浜町に生まれ育って…これが私たちの本音です—立地は地域に役立ったのか？これからどうする地域振興！：粟野明雄，岡本恭典，田中康隆，館太 正，廣瀬とし子，澤田哲生，376.

解 説 小中学生への環境・エネルギー学習支援活動；「げんでん e まなびクラブ」：日本原子力発電(株)広報室，382.

新刊紹介 技術立国日本のエネルギー戦略：澤田哲生，385.

解 説 原子力施設におけるクライシス・コミュニケーションとメディア対応；災害や事故は忘れた頃にやってくる：三谷信次，386.

使用済燃料の臨界安全管理の現実；「燃焼度クレジット」の概念と導入への課題：須山賢也，391.

開発途上国の原子力発電導入とIAEAの支援活動：尾本 彰，396.

欧州での“放射性廃棄物管理のガバナンス研究”の動向；社会の中で地層処分事業が長期に持続するために：佐原 聡，坪谷隆夫，402.

報 告 原子力学会会員は技術士資格を今すぐ取ろう：岡 芳明，工藤和彦，林 克己，407.

連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第3回)水化学の基礎—酸化皮膜特性：辻 利秀，410.

今、核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第10回)IX.壁は熱でどうなるか：古河裕之，切刀資彰，416.

私の主張 高レベル放射性廃棄物処分の社会的受容性から見た考察：豊田正敏，420.

From Editors, 422.

会議報告 第9回国際核破砕材料技術ワークショップ開催記：菊地賢司，川合將義，423.

Short Report 日本技術士会が柏崎刈羽原子力発電所の復旧状況の第2次調査を実施：(社)日本技術士会，原子力・放射線部会，424.

支部便り 関東・甲越支部 第8回 Atoms for Future；講演「原子力をめぐる諸情勢と今後の課題」：富永基夫，425.

日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート MSKCC 滞在記：水野和恵，426.

Web アンケート 50周年記念企画公募記事に共感の声；Web アンケート結果(12月号)，427.

最先端の研究に大きな期待が；Web アンケート結果(1月号)，428.

ジャーナリストの視点 原子力の「社会的責任」果たせ：森瀬 明，429.

会 報 原子力関係会議案内，主催共催行事，第1回(平成20年度)原子力歴史構築賞受賞一覧，「原子力総合シンポジウム2009」プログラム，第21回 平成21年度「日米欧原子力学生国際交流」派遣学生募集，日本原子力学会フェロー基金寄付お願い，フェロー基金寄付者芳名一覧，日本原子力学会「フェロー」一覧，人事公募，専門委員会活動状況，創立50周年記念CD-ROM作成のご案内，英文論文誌(Vol. 46, No. 5)目次，主要会務，430.

後 付 第41回(平成20年度)日本原子力学会賞受賞概要

## No. 6 (6月号)

巻 頭 言 クリーン・エネルギーが開く未来：田中伸男，441.

時 論 国民の信頼獲得には国民の健康と安全を守る基本姿勢を示すことが重要：諸葛宗男，442.  
平和のリアリズムとはなにか？—ガザで想う：加藤 朗，444.

会 告 「第51回通常総会」のご通知，446.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，447.

- 追悼 元会長秋山守先生の逝去を悼む：班目春樹，457.
- 解説 米国オバマ政権の核不拡散・原子力政策：千崎雅生，山村 司，458.  
100年にわたるエネルギー需給構造の変革シナリオ：立松研二，川崎弘嗣，根本正博，463.  
世界の核セキュリティの現状と動向：中込良廣，468.  
原子力と日本人の安全観：中村 功，関谷直也，473.
- 新刊紹介 Reactor Accidents 2<sup>nd</sup> Edition(原子炉事故第2版)：吉田至孝，木村逸郎，478.
- 解説 「運転上の制限の逸脱」とは何だろう；；最近の運転上の制限の逸脱事象について：幅 聡，479.  
放射性廃棄物地層処分施設の建設技術；パッシブ・セーフティへの移行まで：河村秀紀，484.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第4回)水化学の基礎—放射線化学：勝村庸介，490.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第11回) X. 壁の熱をどうするか：佐竹信一，切刀資彰，495.
- 会議報告 廃棄物利用を含む燃料サイクルについて討議；第2回先進オリエント研究開発セミナー：山岸 功，小澤正基，500.  
国際水化学会議2008ベルリン会議報告：荘田泰彦，山崎健治，501.  
人の振り見て，我が振り直せ！「2009年春の年会」倫理委員会セッション：谷 雅明，502.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート Purdue University 滞在記：嘉村明彦，503.
- Web アンケート 軽水炉の連載講座が終了；Web アンケート結果(2月号)，504.
- ジャーナリストの視点 地震と原発，そして火災：管谷友美子，505.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，From Editors，「2009年秋の大会」参加事前登録申込み要領，英文論文誌(Vol. 46, No. 6)目次，和文論文誌(Vol. 8, No. 2)目次，主要会務，506.

## No. 7 (7月号)

- 巻頭言 夢が実現するとき：北澤宏一，513.
- 時 論 東南アジアとのエネルギー科学研究協力：石原慶一，514.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，516.
- Special Note 第42回原産年次大会の講演から；低炭素社会実現への挑戦—原子力への期待：斉藤鉄夫，526.  
第42回原産年次大会の講演から；世界の安全保障と原子力—CEIP 報告書『原子力カルネッサンス』：シャロン・スクワッソーニ，527.
- Nuclear News を見て 核セキュリティの強化と WINS の設立：遠藤哲也，528.
- インタビュー 益川敏英氏に聞く「稲作なんですよ!! 高エネ実験も原子力も」：益川敏英，石橋すおみ，530.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第10回)原子力発電事業を支える電中研の先端技術—新シリーズの連載に当たって：植田伸幸，534.
- From Editors, 540.
- 解説 地球温暖化国際交渉の争点と日本の対応；セクター別アプローチは生き残れるか：澤 昭裕，541.  
東海大学原子力工学科が再び立ち上がる；原子力マイスター育成への挑戦：大江俊昭，浅沼徳子，高木直行，吉田茂生，546.  
東京都市大学の原子力新学科創設に参画して：吉田 正，551.
- 報 告 原子力人材育成の将来を考える；日本原子力研究開発機構原子力研修センター 開講50周年記念シンポジウムから：村上博幸，554.
- 連載講座 軽水炉プラントの水化学；(第5回)水化学の基礎—水質計測：原 信義，557.  
今，核融合炉の壁が熱い！—数値モデリングでチャレンジ；(第12回/最終回)ⅩI. まとめと今後の展望：相良明男，乗松孝好，563.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く① 創造性を自らの掌のなかに：名倉 勝，越田 溪，568.
- 私の主張 地域の「思い」と「期待」：品田庄一，570.
- Web アンケート 地元の人々が誇りをもって，原発を支えてほしい；Web アンケート結果(3月号)，572.
- ジャーナリストの視点 読んでみたい耐震安全50年の検証：佐々木英輔，573.
- 定点感測 ①町の宝が逃げていく……：佐藤晴美，574.
- 新刊紹介 インドの原子力事情；INSAC-2008年参加原産協会訪印団報告書：嶋田昭一郎，575.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，新入会一覧，英文論文誌(Vol. 46, No. 7)目次，主要会務，576.
- 後 付 「第51回通常総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

- 巻頭言 会長就任にあたって：横溝英明，583.
- 平成21年度副会長あいさつ，役員紹介：平山英夫，工藤和彦，辻倉米蔵，584.

- 時 論 世論を喚起しよう：榎本晃章，586.  
低炭素社会と原子力：枝廣淳子，588.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，590.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第11回)3次元アトムプローブによる軽水炉材料のナノ組織観察：土肥謙次，曾根田直樹，600.
- 解 説 核物質標準の国内調達に向けて；保障措置上不可欠な核物質標準をいかに確保するか：鈴木 徹，久野祐輔，606.  
スイスのエネルギー・原子力発電・地層処分；スイスを通して日本を学ぶエネルギー環境教育情報：杉山憲一郎，611.  
原子力発電所に対する規制の課題と考察：西脇由弘，616.
- 新刊紹介 原子炉入門：高木直行，619.
- 報 告 東海発電所廃止措置におけるクリアランス物と放射性廃棄物でない廃棄物(NR物)の搬出；原子力施設からクリアランス物とNR物を搬出するには：山内豊明，620.
- From Editors, 624.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第1回)廃止措置の世界の概況と我が国の現状：石倉 武，625.  
軽水炉プラントの水化学；(第6回)水化学の基礎—水の浄化と浄化装置：大橋伸一，630.
- 談 話 室 速い中性子による対称核分裂(その1)；日本の発見と米国の追試：中根良平，635.  
「核兵器のない世界」と原子力開発：河田東海夫，637.
- 会議報告 世界の炉心・燃料管理のプラクティス；Advances in Nuclear Fuel Management-IV (ANFM-IV)報告：山本章夫，639.  
「使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約」第3回検討会合：村岡 進，澁谷朝紀，640.
- 支部便り 関東・甲越支部 大学院生らが互いの研究成果を発表!!；第2回学生研究発表会—原子力・放射線分野：金澤真吾，641.  
日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート SLAC 滞在記：夏井拓也，642.
- Web アンケート 原発の社会における位置づけはどうか；Web アンケート結果(5月号)，643.
- ジャーナリストの視点 「夢」与えるアピールを：神田 望，644.
- 定点感測 ②いま，原発にがりを打つとき：重原靖子，645.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，意見受付公告，奨学金基金寄付者，第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 46, No. 8)目次，主要会務，646.
- 追 悼 柴田俊一先生追悼記—先生が身をもって示されたこととその意義：木村逸郎，652.

## No. 9 (9月号)

- 巻 頭 言 日本の低炭素力：柏木孝夫，655.
- 時 論 科学を楽しむ「場」—科学フェスティバル：元村有希子，656.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，658.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第12回)放射線はどんなに微量であっても危険なのか—低線量・低線量率放射線の生体影響評価：岩崎利泰，富田雅典，668.
- 新刊紹介 原子力発電所のプロセス計装の保守；有田節男，673.
- 報 告 くらしと廃棄物(ごみ)；アンケート調査が明かした事実と今後の展開：乾 文子，674.  
核不拡散から考える核燃料サイクルの国際化：久野祐輔，ジョーシャン・チョイ，678.  
首都圏住民と原子力学会員との間にある原子力に対する認識のギャップとは：木村 浩，683.  
原子力をめぐるマスメディア報道：佐田 務，686.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第2回)廃止措置技術—鋼材解体の技術動向：佐川 寛，689.  
軽水炉プラントの水化学；(第7回)実機での水化学(1)—燃料/水相互作用：村井琢弥，磯部 毅，694.
- From Editors, 697.
- 談 話 室 速い中性子による対称核分裂(その2)；原爆研究とサイクロトロン：中根良平，698.  
癒しとともに。主観と客観の間を；過去・いま・未来を生きるために：北岡哲子，700.
- 会議報告 原子力プラントの革新に関する国際会議：島津洋一郎，奈良林 直，702.
- 編集委員会 委員長あいさつ，論文誌・学会誌編集長あいさつ，委員一覧：森山裕丈，矢野豊彦，近藤吉明，703.
- 部会等運営委員会 委員長あいさつ，委員一覧：佐藤正知，705.
- 企画委員会 委員長あいさつ，委員一覧：小澤通裕，706.
- Web アンケート より時空の広い内容を目指して；2008年度のWeb アンケートまとめ，707.  
信頼獲得の説明改善が鍵；Web アンケート結果(6月号)，709.
- 定点感測 ③もっとイージーに外へむかって：山岸和恵，710.
- ジャーナリストの視点 三つの感想：中村悦二，711.
- 「2009年秋の大会」の見どころ，712.
- 会 報 原子力関係会議案内，主催・共催行事，人事公募，日本原子力学会「奨学生」の募集，意見受付公告，第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 46, No. 9)目次，和文論文誌(Vol. 8, No. 3)目次，主要会

務, 716.

## No. 10 (10月号)

- 巻頭言 「マニフェストと起請文」—政治家は花魁じゃない：浜 矩子, 725.
- 時 論 日本社会と核セキュリティ；原子力の国際展開の中でのセキュリティ認識：中込良廣, 726.  
原子力の岐路, 私の岐路：田口 康, 728.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 730.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第13回)配管の健全性確保と合理的な保守管理を目指して—配管減肉現象のメカニズム解明と予測手法の確立：米田公俊, 森田 良, 藤原和俊, 740.
- 解 説 核拡散をめぐる国際政治；インド, パキスタンの核兵器開発を中心に：広瀬崇子, 745.
- From Editors, 748.
- 解 説 核融合炉関連核データの現状と将来展望；フェムトスケールの物理が支える核融合炉開発：日本原子力学会 核データ部会, 749.  
原子力施設の安全性および信頼に関わる課題と技術マップの構築：首藤由紀, 牧野真臣, 滝田雅美, 754.
- 講 演 立地町の一住民としての思い—原子力発電所とともに歩む「原子力総合シンポジウム2009」に参加して：江上博子, 759.
- 報 告 企業における女性のキャリアの磨き方；ダイバシティ連携のための講演会：笹尾真実子, 761.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第3回)廃止措置技術—コンクリート解体/はつりの技術動向：伊東章, 鳥居和敬, 763.  
軽水炉プラントの水化学；(第8回)実機での水化学(2)—構造材料と水の相互作用：塚田 隆, 768.
- 私の主張 数学・計算法および炉物理の進歩 M&C 09に参加して；原子力コード利用環境の改善, 公的な高等教育機関の拡充および定年制度の見直しを：小林啓祐, 773.
- 談 話 室 原子力分野における「技術者倫理」と「安全文化」；最近の2つの講演から学ぶこと：桑江良明, 775.
- 会議報告 FISA 2009会議；Seventh European Commission Conference on Euratom Research and Training in Reactor Systems：平田 勝, 777.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く② 学生団体STEP：大中 温, 778.
- IAEA 版 JCO 臨界事故調査(英文)の発表について, 779.
- 定点感測 ④原子力の“グローバル”展開：秋田 晶, 780.
- ジャーナリストの視点 科学技術を見据えた平和構築—永井隆博士の願いがオバマ演説に：佐藤年緒, 781.
- 「2010年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 782
- 会 報 原子力関係会議, 主催・共催行事, 人事公募, 英文論文誌(Vol. 46, No. 10)目次, 入会案内, 主要会務, 783.

## No. 11 (11月号)

- 巻頭言 東京都市大学の新たな試み：中村英夫, 789.
- 時 論 ドラえもんを作ってください：井川陽次郎, 790.  
地方から見た原子力：角山茂章, 792.  
福井で原子力を学ぼう：来馬克美, 794.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 796.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発；(第14回)材料と水で軽水炉を護る；SCC 研究と水化学研究：渡辺恵司, 藤原和俊, 河村浩孝, 806.
- 解 説 世界の原子力事故に即時対応可能な大気拡散予測；緊急時環境線量情報予測システム(世界版)WSPEEDI-II：茅野政道, 寺田宏明, 812.  
都市域における放射能散布テロへの対応；都市型緊急時対応訓練 EMPIRE 09に見る米国の体制：永井晴康, 渡辺文隆, 遠藤邦明, 816.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向；(第4回)廃止措置技術—放射線計測の技術動向：酒井仁志, 佐川 寛, 819.  
軽水炉プラントの水化学；(第9回)実機での水化学(3)—被ばく線量の低減：實重宏明, 塚本雅昭, 824.
- 座 談 会 日本原子力学会関西支部 創立50周年記念式典：鈎 孝幸, 830.
- 談 話 室 IAEA 版 JCO 臨界事故調査報告；LESSONS LEARNED FROM THE JCO NUCLEAR CRITICALITY ACCIDENT IN JAPAN IN 1999の発表まで：住田健二, 834.
- 会議報告 日・韓・中を中心とするアジア地域における放射線工学分野の会合；「放射線安全と計測技術に関する国際シンポジウム(ISORD-5)」報告：前畑京介, 執行信寛, 836.
- 支部便り 関東・甲越支部 電気の史料館見学会および講演会：猪飼正身, 837.
- 新・不定期連載 未来型リーダーシップを拓く③ ヴィクトル・ユゴーが描いた世界：久住涼子, 838.

定点感測 ⑤中学生の誇り, 原子燃料サイクル施設一早期推進を積極的に: 種市治雄, 840.

Web アンケート 人材育成の問題を改めて提起; Web アンケート結果(7月号), 841.

技術の法の枠組みから見る; Web アンケート結果(8月号), 842.

ジャーナリストの視点 ぬぐい去りたい地震への不安: 永井 理, 843.

会 報 原子力関係会議, 主催・共催行事, 「2009年秋の大会」(東北大学)開催報告, from Editors, 英文論文誌(Vol. 46, No. 11)  
目次, 主要会務, 844.

## No. 12 (12月号)

巻 頭 言 明日の原子力を担う人材育成に向けて: 白井克彦, 849.

時 論 核兵器不拡散条約(NPT)の将来と3S: 新井 勉, 850.

大学における原子力教育・研究と人材育成: 竹田敏一, 852.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 854.

シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発; (第15回)エラーをする人間から, 安全を守る人間の研究へ; 電中研における  
ヒューマンファクター研究: 佐相邦英, 弘津祐子, 廣瀬文子, 864.

解 説 物理的世界とデジタルの世界の融合がもたらすもの; Smarter Planet の目指す世界: 岩野和生, 菊山薫子, 870.

国産放射線挙動シミュレーション計算コードシステム開発の必要性和展望: 坂本幸夫, 千葉 敏, 長家康展, 875.

FBR 実証炉の建設と実用化を目指して; 開発の経緯と三菱の取組み: 岡田敬三, 880.

私たちの主張 原子力界をリードして来た4氏が思いを語る: 伊原義徳, 原 禮之助, 遠藤哲也, 浜崎一成, 小林容子, 885.

連載講座 軽水炉プラントの水化学; (第10回/最終回)実機での水化学(4)—プラント管理, 標準化・規格化: 瀧口英樹, 890.

談 話 室 広島, 原爆投下(その1); トルーマン声明: 中根良平, 895.

SNW 報告 「環境保全と経済発展を両立させるために原子力は不可欠」; Cool Earth 50を提言された安倍元総理に  
聞く: 齋藤伸三, 荒井利治, 897.

新刊紹介 対話の場をデザインする—科学技術と社会の間をつなぐということ: 松浦祥次郎, 899.

会議報告 ベトナムの原子力研究は今(ベトナムへ原子力学会): 山本章夫, ナム ホアイ ツァイ, 900.

Win-Japan 主催 女性交流会 in 薩摩川内—楽しく話そう, エネルギーや原子力のこと: 前田由起子, 黒岩温子, 901.

アクチノイドおよび核分裂生成核種の地質環境における化学と移行に関する国際会議: 大貫敏彦, 902.

定点“感”測 ⑥夢実現: 伊藤恭子, 903.

Web アンケート 低線量・低線量率放射線の影響評価が好評; Web アンケート結果(9月号), 904.

ジャーナリストの視点 鳩山首相にノーベル平和賞銀メダルは可能か: 志賀正利, 905.

会 報 原子力関係会議案内, 主催・共催行事, 人事公募, 平成22年度フェロー候補推薦募集, フェローの活動状況, From  
Editors, Web 会議システムの導入と運用に係わるお知らせ, 和文論文誌(Vol.8, No.4)目次, 英文論文誌(Vol.46, No.12)  
目次, 主要会務, 906.

後付 総目次・著者名索引(Vol. 51, No. 1~No. 12)



# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 52, Nos. 1~12 (2010)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭インタビュー 「原子力はクリーンエネルギーの4番バッター」経済産業副大臣 増子輝彦氏に聞く：増子輝彦, 近藤吉明, 佐田 務, **1**.
- 特別講演 天野之弥大使に期待するシンポジウム「原子力の平和利用とIAEAの役割」：天野之弥, **3**.
- 時 論 生命医療工学分野の最前線が抱える問題点—脳科学分野に於ける規制と規制緩和の必要性：尾崎美和子, **6**.  
アジア諸国への原子力人材育成協力—現状と課題：杉本 純, **8**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **10**.
- 長期的展望に立った原子力エネルギー研究開発の推進を(平成22年度原子力関連予算に関する要望)：日本原子力学会, **20**.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第16回)；バックエンド事業の円滑な推進を支える—使用済燃料輸送・貯蔵と放射性廃棄物処分にかかわる先端技術の開発：河西 基, **21**.
- 解 説 サイクル・廃棄物屋は、原子力の持続性を保証するために何をなすべきか？：河田東海夫, **28**.  
放射線遮へい技術の現状—放射線遮へい分野の技術ロードマップの策定に向けて：「放射線遮蔽」研究専門委員会, **33**.  
安全文化と企業倫理が目指すもの—原子力発電事業者の一考察：川俣 晋, **39**.
- 日本原子力学会 Web 会議システムの導入と運用に係るお知らせ, **43**.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第1回)欧州総括編；欧州(EU)のエネルギー政策と原子力：東海邦博, **44**.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第5回)；廃止措置技術—除染の技術動向：酒井仁志, 片岡一郎, **48**.
- 談話室 広島, 原爆投下(その2)；X線フィルムの感光：中根良平, **53**.
- 会議報告 軽水炉水環境中における応力腐食き裂進展—試験方法に関するフォーラム：新井 拓, **55**.  
燃料サイクルの産業化を目指して(GLOBAL 2009)：井上 正, 深澤哲生, **56**.  
核燃料の信頼性を向上させる努力について：安部田貞昭, 更田豊志, **57**.  
光医療産業バレー拠点創出シンポジウム：土田 昇, **58**.
- 学生連絡会報告 第12回倫理研究会参加報告：山本哲大, 嶋田和真, **59**.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート WSU 滞在記：竹内百恵, **60**.
- 定点感測 ⑦国民の幸せにつながる電力源選択とは—ベストミックスの中に原子力を：鈴木 翔, **61**.
- Web アンケート 立地住民の声に共感の声が多く；核セキュリティについての記事も好評(10月号 Web アンケート結果), **62**.
- ジャーナリストの視点 原発の隣で暮らす人々：大崎要一郎, **63**.
- 会 告 平成22・23年度代議員選挙に係わる支部, 部会等の推薦候補の推薦について：選挙管理委員会, **64**.
- From Editors, **65**.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol. 47, No. 1)目次, 主要会務, **66**.

## No. 2 (2月号)

- 巻 頭 言 原子力とニュートリノ：鈴木厚人, **71**.
- 時 論 原子力研究の裾野の拡大へ向けて：中西友子, **72**.  
期待外れの COP 15 で見えたもの：滝 順一, **74**.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **76**.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第17回)；統計的安全評価手法に関する電力中央研究所の取組み：古谷正裕, 西 義久, **86**.
- 解 説 福井大学における原子力教育・研究—地域連携型の教育・研究：竹田敏一, 泉 佳伸, 玉川洋一, **91**.
- From Editors, **97**.
- 解 説 東北大学の原子力研究分野への取組み：井上明久, **98**.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第2回)欧州総括編；フランスの原子力事情：東海邦博, **102**.
- 連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第6回)；廃止措置技術—処理処分の技術動向：水越清治, **108**.
- 談話室 ウィーンから見た日本, そして原子力の未来(1)；JAEA ウィーン事務所から見た日本の原子力：杉本 純, **113**.
- 会議報告 日本保全学会「第6回学術講演会」—新検査制度の施行後の保全技術への取組み：山本 智, **115**.  
古都金沢で原子炉熱流動研究の専門家会議盛況裡に開催—2/3以上が海外からの論文発表：二ノ方 壽, 前川 勇, **116**.  
アジア水化学シンポジウム2009：布施元正, **117**.

支部便り 関東・甲越支部「原子力オープンスクール2009」；未知との遭遇 アトムの世界：猪飼正身，118.  
学生連絡会報告 平成21年度「原子力と地域の関わりに関する調査研究活動」の紹介とこの活動に参画した学生連絡会の感想：上西紗耶加，119.  
定点感測 ⑧原発で考えてみた食のわがまま：土田美登世，120.  
Web アンケート 原子力にもっと独創性を；放射線やリスクの教育が必要との声を(11月号 Web アンケート結果)，121.  
ジャーナリストの視点 説明不足の『国策』：香取啓介，122.  
会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，英文論文誌(Vol. 47, No. 2)目次，主要会務，123.

### No. 3 (3月号)

巻 頭 言 「未来のための原子力」をめざして：鈴木達治郎，127.  
時 論 重粒子線治療：辻 比呂志，128.  
シンポジウムの開催と，その問題点：横手光洋，130.  
インタビュー 「日豪主導の国際委員会で核不拡散・核軍縮の推進，核廃絶へ」川口順子ICNND共同議長に聞く：川口順子，近藤吉明，132.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，135.  
シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第18回)；原子力施設の地震に対する安全性—実験とシミュレーションによる実現象の再現と予測：平田和太，矢花修一，酒井理哉，145.  
解 説 カオス現象の解説と一提言：上田皖亮，150.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第3回)欧州総括編；フィンランドの原子力事情：東海邦博，155.  
From Editors, 157.  
連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第7回)；廃止措置技術—コンクリート再利用：小川秀夫，鳥居和敬，石倉武，158.  
談 話 室 ウィーンから見た日本，そして原子力の未来(2)；ウィーンの日本人社会と原子力：杉本 純，163.  
編集で現場の事実と乖離してしまった報道番組—NHK スペシャル「原発解体～世界の現場は警告する」：佐藤忠道，165.  
会議報告 ケーブル・コンクリート劣化の評価技術—高経年化対策強化基盤整備事業3ヶ年成果報告会：滝沢真之，芦田高規，166.  
本会主催の原子力教育シンポジウムを開催—「世界の原子力をリードする大学教育の飛躍を目指して」：佐田 務，干場静夫，福崎孝治，167.  
支部便り 関東・甲越支部「第8回若手研究者発表討論会」—原子力・放射線 未来・夢・創造：佐伯 潤，168.  
YGN 活動報告 若手で語ろう！これからの技術者像—「2009年秋の大会」YGN・学生連絡会合同企画セッションより：羽倉尚人，169.  
定点感測 ⑨原子力災害に医師として携わって感じてきたこと：原口義座，170.  
Web アンケート 幅広い分野の情報が好評；自らの視点が広げられるとの声も(12月号 Web アンケート結果)，171.  
ジャーナリストの視点 “切り札”扱いに慢心するなかれ：原田成樹，172.  
「2010年春の年会」の見どころ，173.  
会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，平成22年度新役員候補者ご推薦のお願い，第22回平成22年度派遣学生募集，英文論文誌(Vol. 47, No. 3)目次，和文論文誌(Vol. 9, No. 1)目次，主要会務，180.

### No. 4 (4月号)

巻 頭 言 「・」：石田寛人，187.  
時 論 国際保障措置の現状と将来の課題：村上憲治，188.  
原子力平和利用のスリー・エス(3S)：坪井 裕，190.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，192.  
学会 NEWS 原子力学会の異常事象解説チーム(チーム110)が活動開始：小川順子，202.  
シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第19回)；原子力発電所のリスクを定量的に把握する—確率論的安全評価のパラメータ推定技術：桐本順広，眞田高宥，203.  
From Editors, 208.  
解 説 原子力発電所の新しい保全への取組み—新検査制度の概要と事業者の取組み：原子力発電部会，209.  
報 告 核廃絶に向けて—日豪国際委員会の提言と評価：遠藤哲也，214.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第4回)欧州総括編；英国の原子力事情：東海邦博，217.  
連載講座 21世紀の原子力発電所廃止措置の技術動向(第8回/最終回)；廃止措置技術—金属再利用の技術動向：村田 実，219.  
ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第1回)；放射線防護の歴史的展開—ICRP 勧告の変遷を中心として：小佐古敏荘，225.  
談 話 室 WIN-Japan 主催「サイエンス・ディナー in 松山」—モリモリ話そう，エネルギーや原子力のこと：河田朱実，黒岩温

- 子, 230.
- 会議報告 高速炉システムの実用化を目指して：佐藤浩司, 232.
- 活動報告 アクチノイドの実験・取扱操作を体験する—J-ACTINET サマースクール2009を開催：日本アクチノイドネットワーク, 233.
- 「CO<sub>2</sub>を減らすために、今、私たちができること」—JEMA 原子力 PA 女性分科会が首都圏女性と懇談会：原子力 PA 女性分科会, 234.
- YGN 活動報告 FBR 実用化に向けた国際協調のあり方について；高速炉システム国際会議(FR 09)ヤングジェネレーションイベントにて：城 隆久, 235.
- Web アンケート 原子力の平和利用へのリーダーシップに大きな期待；「被ばくのイメージから早く脱皮を」との声も(1月号 Web アンケート結果), 237.
- 羅 針 盤 網渡りから脱却できるか：小川 明, 238.
- ジャーナリストの視点 もんじゅ仕分け傍聴記：山田 聡, 239.
- 「2010年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 240.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 人事公募, 平成22年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰, 平成21年度(第3回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧, 「第42回(平成21年度)日本原子力学会賞」受賞一覧, 英文論文誌(Vol. 47, No. 4)目次, 主要会務, 241.

### No. 5 (5月号)

- 巻 頭 言 原子力教育の先駆け、東海大学の挑戦：松前達郎, 251.
- 時 論 燃料サイクルの研究開発に想う：井上 正, 252.
- フランス、そして世界における原子力の位置付けは：コルディエ ピエール＝イヴ, 254.
- 会 告 平成22・23年度代議員選挙について, 256.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 259.
- インタビュー 「柏崎刈羽で得られた貴重な経験と知見を確実に生かしていく」東京電力㈱副社長 武黒一郎氏に聞く：武黒一郎、近藤吉明, 269.
- 特別講演 『サルゴジ大統領開会スピーチ』原子力民生利用へのアクセスに関する国際会議：在日フランス大使館原子力部, 澤田哲生, 274.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第20回)；合理的なクリアランス測定を目指して—形状計測とモンテカルロ計算を活用した全自動放射能評価手法の開発：佐々木道也, 服部隆利, 279.
- 解 説 新検査制度導入と炉心設計—運転期間延長に伴う炉心設計上の課題と対応：原田健一, 浅野耕司, 山中章広, 285.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第5回)欧州総括編；イタリアの原子力事情：東海邦博, 290.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第2回)；放射線防護の生物学的側面：丹羽太貴, 292.
- 談 話 室 キュリー夫人がおこなった“幻の授業”—キュリー夫人の理科教室 紙芝居と実験ショー：吉祥瑞枝, 297.
- 会議報告 原子力平和利用と核不拡散, 核軍縮にかかわる国際フォーラム：直井洋介, 299.
- 新刊紹介 原子力政策学：下山俊次；原子力の過去・現在・未来—原子力の復権はあるか：諸葛宗男, 300.
- 定点感測 ⑩わが町をこよなく愛す：山口直子, 301.
- 羅 針 盤 入試の英文：石田寛人, 302.
- Web アンケート 人材育成は業界全体の問題；学会誌の問題の提起に賛同の声も(2月号 Web アンケート結果), 303.
- ジャーナリストの視点 『感情』に思い巡らす試みを：三浦穂積, 304.
- 会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 「原子力総合シンポジウム2010」プログラム, 日本原子力学会フェロー基金への寄付のお願い, 平成21年度分日本原子力学会フェロー基金への寄付者芳名一覧, From Editors, 日本原子力学会「フェロー」一覧, 標準委員会意見受付公告, 日本原子力学会新法人制度移行・規程体系化について, 英文論文誌(Vol. 47, No. 5)目次, 主要会務, 305.
- 後 付 第42回(平成21年度)日本原子力学会賞受賞概要

### No. 6 (6月号)

- 巻 頭 言 顔の見える原子力白書：秋庭悦子, 315.
- 時 論 異分野からの……：中村浩美, 316.
- 核不拡散・核セキュリティ体制の強化と我が国の役割：木村直人, 318.
- 会 告 「第52回通常総会」のご通知, 320.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 321.
- 解 説 鳩山政権の地球温暖化対策の問題点—合理的根拠なき国内対策と戦略なき外交：澤 昭裕, 331.
- From Editors, 335.

- 解 説 海の国のアトム；1. 宝の海へ大冒険：工藤君明，336.
- 講 演 原子力学会「2010年春の年会」から；JCO 事故の全容を再検証—原子力学会が JCO 臨界事故で特別セッション：佐田務，澤田 隆，341.
- 報 告 原子力平和利用推進に伴う核不拡散問題への国際的な取組み—「原子力平和利用と核不拡散，核軍縮にかかわる国際フォーラム」の結果より：久野祐輔，直井洋介，山村 司，346.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第3回)；放射線防護に用いられる諸量：保田浩志，352.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第6回)欧州総括編；スイスの原子力事情：東海邦博，357.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第1回)；JNES は，原子力の安全確保に取り組む専門家集団です：原子力安全基盤機構(JNES)，359.
- 私の主張 国産核計算コードと核データのルネサンス—我々は何をすべきなのか：須山賢也，361.
- 会議報告 実験炉物理国際フォーラム—若手研究者としての「温故知新」と今後の活用・期待：遠藤知弘，363.  
日本保健物理学会 特別シンポジウム「放射線審議会・原子力安全委員会における放射線防護に係る基本的考え方の検討状況について」参加印象記：百瀬琢磨，364.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第1回)；ウィーンを離れられない5つの理由：福田和代，365.
- 定点感測 ①地域合意に向けて「信頼」を「参加」で育む：崎田裕子，366.
- Web アンケート 原発報道への批判記事に対し高い関心；原子力災害の医療現場の記事には共感の声(3月号 Web アンケート結果)，367.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，連載講座「軽水炉プラント」，「高速炉の変遷と現状」書籍残部販売のご案内，英文論文誌(Vol. 47, No. 6)目次，和文論文誌(Vol. 9, No. 2)目次，主要会務，305.

## No. 7 (7月号)

- 巻 頭 言 外から見た日本の原子力とその課題：尾本 彰，375.
- 時 論 脱「融資保証頼み」米国原子力政策への提言：村上朋子，376.  
原子力の国際展開と日本の役割：水町 渉，378.
- 羅 針 盤 さらによく見るとということ：松浦祥次郎，380.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，381.
- 講 演 菅直人氏が東工大でスピーチ；日本株式会社を再構築する！：菅 直人，澤田哲生，391.
- インタビュー 「原子力の開発を軸に，産業の活性化を」；衆議院議員 空本誠喜氏に聞く：空本誠喜，石橋すおみ，392.
- From Editors, 396.
- 座 談 会 日本の国際貢献からみた魅力的な人材とその育成—国際原子力機関(IAEA)での経験を軸に：尾本 彰，小西俊雄，中込良廣，谷津祥一，澤田哲生，397.
- シリーズ解説 我が国の最先端原子力研究開発(第21回)；変化する将来に柔軟に対応するサイクルオプション—乾式リサイクル技術と金属燃料 FBR：小山正史，尾形孝成，402.
- 解 説 海の国のアトム；2. モナリザは地球の肖像画：工藤君明，409.  
社会から信頼される原子力専門家に求められるスキル—非言語コミュニケーションの重要性を確認するための試行調査：郡司郁子，414.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第2回)；社会・海外とのインターフェースを目指す原産協会：日本原子力産業協会(JAIF)，419.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第7回)欧州総括編；ドイツの原子力事情：東海邦博，421.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第4回)；放射線防護の基礎—防護体系と原則：杉浦紳之，424.
- 会議報告 RI や放射線をいかに利用するか—第45回 RI・放射線利用促進セミナー：天野 光，429.  
制御室近代化などの安全運転に関する研究状況—拡大ハルデン・プログラム・グループ会議：久保田龍治，430.
- 不定期連載 未来型リーダーシップを拓く④；学生としての自由な対話を未来に繋げる—日米学生会議の伝統と挑戦：安川皓一郎，431.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート CERN 滞在記：小川達彦，433.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第2回)；異国での挑戦!!：奥村 智，434.
- Web アンケート 世界の原子力をめぐる動きに高い関心；学会の「異常事象解説チーム」にはエール(4月号 Web アンケート結果)，435.
- 新刊紹介 物理学と核融合：堀池 寛，436.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正・正誤表，(支部便り)関東・甲越支部「第3回学生研究発表会—原子力・放射線分野」，英文論文誌(Vol. 47, No. 7)目次，主要会務，437.
- 後 付 「第52回通常総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

- あいさつ 会長就任にあたって；全員参加で推進する原子力、鍵を預かる日本原子力学会：辻倉米蔵，443.
- 時 論 憲法の学問の自由と原子力・生命科学研究：棚島次郎，444.  
日本の温室効果ガス削減における原子力の役割：松尾雄司，446.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，448.
- 報 告 国際放射線防護委員会(ICRP)2007年勧告の国内法令取入れに対する若手独自の観点からの考え：荻野晴之，河野恭彦，山外功太郎，藤原慶子，鈴木ちひろ，458.
- Focus 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第1回)；加速する高速炉開発：2020年に商用炉の運転開始：竹田敏一，佐賀山豊，巽 良隆，462.
- 解 説 海の国のアトム；3.海を観て絵に描く：工藤君明，468.  
ナチュラルアナログー自然に学ぶ地層処分(第1回)；数万年先を予測する工学技術とは？：吉田英一，北山一美，佐藤努，小林谷子，473.  
NUMO「安全確保構想2009」—安全な地層処分の実現のために：土 宏之，石黒勝彦，加来謙一，478.
- 講 演 話題の女性・おふたりとのダイバシティ・トークー科学技術・原子力における男女共同参画：岩城智香子，483.
- Scope 原子力関連機関の紹介(第3回)；責任をもって放射性廃棄物の地層処分を行う，それがNUMOの使命です：原子力発電環境整備機構(NUMO)，485.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第8回)欧州総括編；スウェーデン・スペインの原子力事情：東海邦博，487.
- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージー次世代の安全基盤の確立に向けて(第1回)；KUCAにおける炉物理実験：代谷誠治，490.  
ICRP 新勧告ー新しい放射線防護の考え方と基準(第5回)；計画被ばく(線量拘束値，履行)：服部隆利，495.
- From Editors, 499.
- 会議報告 炉物理研究および業界の動向，人材育成の課題(PHYSOR 2010)：北田孝典，遠藤知弘，500.  
韓国原産会議 一枚岩のように言われるけれど：飯田武彦，501.
- 日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート ITER 滞在記：柏 総一郎，502.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第3回)；ウィーン春夏秋冬：正田智恵，503.
- ジャーナリストの視点 現場を見せて，声を聴かせて：新居一樹，504.
- 新刊紹介 次世代に伝えたい原子力ー重大事件&エピソード：根井弘道，505.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正；会員にとって魅力ある活動を(澤田 隆)；会員の宝としての日本原子力学会に(田中 知)；会員の活動を基盤に，社会的役割を果たせる学会組織を目指して(平山英夫)；平成22年度役員紹介，第43回(平成22年度)日本原子力学会賞受賞候補者推薦の募集，英文論文誌(Vol. 47, No. 8)目次，主要会務，506.

## No. 9 (9月号)

- 巻 頭 言 核兵器のない世界に向けて次の知恵と行動を：田上富久，517.
- 時 論 シンビオティックな社会の構築を目指して：吉川榮和，518.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，520.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第22回)；放射光の現状と将来ー光の性能へ高まる要望と技術革新：高田昌樹，山本雅貴，石川哲也，530.
- From Editors, 535.
- Focus 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第2回)；各国のナトリウム冷却高速炉サイクル技術開発の現状と展望：三島嘉一郎，齊藤正樹，永田 敬，536.
- 解 説 ナチュラルアナログー自然に学ぶ地層処分(第2回)；数万年先を予測する工学技術とは？：北山一美，佐藤 努，吉田英一，553.
- 講 演 JCO 事故後に原子力事業者が取り組んできた活動ー「2010年春の年会」原子力発電部会企画セッション講演報告：原子力発電部会，559.
- 報 告 原子力レアメタル利用の可能性ー「核燃料サイクルの物質・放射線利用」研究専門委員会：藤井靖彦，563.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第9回)アジア編；中国の原子力発電の概要ー目覚ましい発展を続ける原子力開発：中山元，568.
- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージー次世代の安全基盤の確立に向けて(第2回)；臨界安全と未臨界面度測定：山根義宏，573.  
ICRP 新勧告ー新しい放射線防護の考え方と基準(第6回)；緊急時被ばく：本間俊充，578.
- 会議報告 中国の原子力発電への熱気(ICONE 18)：藤井澄夫，583.

**Relay Essay** ドナウ川の畔から(第4回)；ブラヴォー，ウィーン生活！：渡辺泰人，584.

**定点感測** ⑫もんじゅの運転再開の日を迎えて：橋本昭三，585.

**Web アンケート** 記事企画の努力の成果が見られたこの1年；2009年度のWeb アンケートのまとめ(2009年4月～2010年3月)：小林容子，586.

**ジャーナリストの視点** 核燃サイクルの現場から：西川 迅，588.

「2010年秋の大会」の見どころ，589.

**会 報** 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，日本原子力学会「奨学生」の募集，記事訂正；平成22年度編集委員長あいさつ—世界をリードする論文誌，学会誌をめざして(野村茂雄)；平成22年度部会等運営委員長あいさつ(中安文男)；平成22年度企画委員長あいさつ—社会に開かれた学会を意識した取り組み(石井慶造)，英文論文誌(Vol. 47, No. 9)目次，和文論文誌(Vol. 9, No. 3)目次，主要会務，595.

## No. 10 (10月号)

**巻頭インタビュー** 「もんじゅ」から「はやぶさ」までを語りつくす！；文部科学大臣，内閣府特命担当大臣，衆議院議員 川端達夫氏に聞く：川端達夫，小林容子，605.

**時 論** 小学校において原子力・放射線教育は可能か：杉山憲一郎，611.

原子力政策大綱見直しへの視点—原子力政策円卓会議2010の討議をふまえて：吉岡 斉，613.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報，615.

日本原子力学会の新法人移行への取り組み：日本原子力学会理事会，総務財務委員会，625.

**Focus** 世界の高速炉サイクル技術開発の動向(第3回/最終回)；革新的なナトリウム冷却高速炉サイクル技術と開発課題：山口 彰，柳澤 務，森山裕丈，626.

**解 説** 「もんじゅ」運転再開；臨界達成と炉心特性把握—炉心確認試験報告：宇佐美 晋，638.

高速炉熱流動・安全評価ロードマップの概要と今後の活用に向けて：「高速炉熱流動・安全評価」特別専門委員会，643.

気候変動問題解決の切り札として，原子力をどう位置付けるか？—炭素価格で市場にシグナルを：鈴木達治郎，648.

地球温暖化対策の方向性と原子力発電の役割—持続的な温暖化対策の取り組みに向けて：秋元圭吾，652.

ナチュラルアナログ—自然に学ぶ地層処分(第3回/最終回)；数万年先を予測する光学技術とは？：北山一美，佐藤 努，吉田英一，657.

原子力人材は海外展開で活性化を図る—原子力人材育成関係者協議会 定量分析 WG 分析結果：氏田博士，663.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第10回)アジア編；ベトナムの原子力事情：酒井利明，669.

**連載講座** 実験炉物理：未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第3回)；実機炉心における実験炉物理手法開発：島津洋一郎，673.

ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第7回)；現存被ばく状況：飯本武志，678.

**活動報告** 地球温暖化問題と原子力の役割—関東・甲越支部講演会 Atoms for Future：関東・甲越支部企画委員会，683.

**談 話 室** ニュージーランドの暮らしと語学ブラッシュアップ(その1)；クライストチャーチの3ヶ月：松田美夜子，684.

**Relay Essay** ドナウ川の畔から(第5回)；自転車先進都市ウィーン：柏村元一，686.

**ジャーナリストの視点** 溝はなぜ埋まらない：横川浩士，687.

日本原子力学会「2011年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，688.

編集委員会からのお知らせ：日本原子力学会編集委員会 論文誌編集長，689.

**会 報** 学術的会合の予定，人事公募，英文論文誌(Vol. 47, No. 10)目次，主要会務，690.

## No. 11 (11月号)

**巻 頭 言** エネルギー基本計画における原子力の位置づけ：細野哲弘，695.

**時 論** 米印合意と日印間の原子力協力：浅田正彦，696.

日本の自治体，求められる科学・技術の戦略機能：高松平藏，698.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報，700.

**シリーズ解説** 我が国の最先端研究開発(第23回)；RI ビームが拓く新時代—理化学研究所・RI ビームファクトリーの始動：櫻井博儀，710.

**解 説** 匠たちの足跡(第1回)；原子力の歴史を構築した多度津振動台：毛利嘉明，715.

加速器・ビーム科学部会が「春の年会」で企画セッション；量子ビーム発生と利用の最前線—中性子利用鉄鋼評価技術の最近の進歩：友田 陽，720.

シンクロトロンに基づくスポット走査方式陽子線治療システム—照射野形成のための補助具が不要で，目標内の線量分布をフレキシブルに制御可能：平本和夫，723.

超伝導加速による次世代小型高輝度光子ビーム源の開発：浦川順治，725.

シミュレーションの信頼性確保のあり方とは？—当学会としての Verification & Validation への取り組み：堀田亮年，

- 中田耕太郎, 佐田幸一, 727.
- 原子力発電所の設計と評価における地震安全の論理: 大橋弘忠, 成宮祥介, 宮田浩一, 渡辺憲夫, 732.
- みんなでわかってシリーズ 時空の創生: 超弦理論から原子核へ; 1. 超弦理論と素粒子: 橋本幸士, 737.
- 連載講座 実験炉物理: 未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第4回); NCAにおける臨界実験: 三橋偉司, 742.
- 新刊紹介 Nucleon Reactor Physics Experiments: 山根義宏, 747.
- 連載講座 ICRP 新勧告—新しい放射線防護の考え方と基準(第8回/最終回); 環境の放射線防護: 酒井一夫, 748.
- 新刊紹介 知らないと怖い環境問題: 工藤和彦, 752.
- 解説 原子力外交シリーズ(第1回); 日本原子力外交の課題: 遠藤哲也, 753.
- 談話室 豊かさと科学技術, そして原発: 佐田 務, 755.
- ニュージーランドの暮らしと語学ブラッシュアップ(その2); 語学学校と仲間たち: 松田美夜子, 757.
- 会議報告 高齢化対策における国際協力; (SCAP)”: 滝沢真之, 村上佳菜, 759.
- 原子力水素技術開発専門家会議 ST-NH 2—日本の HTTR の進展・貢献に大きな期待が寄せられる: 塩沢周策, 760.
- 新たな原子力拡大への動きへの期待(ICAPP'10): 松井一秋, 川島正俊, 761.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第6回); そんな楽園—愛犬と暮らす人々: 田中雅子, 762.
- 定点感測 ⑬喧嘩綱のある風景: 山田島 稔, 763.
- 会報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 標準委員会意見受付公告, 英文論文誌(Vol. 47, No. 11)目次, 主要会務, 764.

## No. 12 (12月号)

- 巻頭言 フロントランナー型イノベーション創出能力の強化に貢献する原子力; 巨大複雑系社会経済システムの創成力の強化を: 柘植綾夫, 769.
- 時論 核軍縮の新たな流れ: 好機を逃すな: 黒澤 満, 770.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 772.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第24回); 京速コンピュータ「京(けい)」とは何か?—世界最高レベルの計算性能を目指して: 横川三津夫, 庄司文由, 782.
- 解説 匠たちの足跡(第2回); 原子力技術者・研究者を育成—武蔵工大炉: 堀内則量, 787.
- みんなでわかってシリーズ 時空の創生: 超弦理論から原子核へ; 2. 超弦理論と宇宙論: 極小素粒子と極大の関係: 橋本幸士, 791.
- 分離変換技術はどこまで成熟したか?—技術成熟度評価に基づく現状整理と提案: 「分離変換・MA リサイクル」研究専門委員会, 796.
- 原子力開発のための中性子核反応データベース—評価済み核データライブラリー JENDL-4.0の完成: 柴田恵一, 岩本修, 千葉 豪, 801.
- 原子力機器材料への技術的挑戦と国際展開—日本製鋼所の製造技術の変遷と今後の取組み: 佐藤育男, 806.
- 炭素14環境中移行に関する研究の現状—食物を介しての人と原子力の接点: 山澤弘実, 811.
- 核不拡散のための「核実験禁止アジア地域ネットワーク»: 篠原伸夫, 一政祐行, 小鍛治理紗, 816.
- 連載講座 実験炉物理: 未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第5回); JAEAの熱炉体系炉物理実験: 外池幸太郎, 819.
- 私の主張 もんじゅはエネルギー・環境問題を解決できるか—高速増殖炉の研究開発について: 中江延男, 824.
- 解説 原子力外交シリーズ(第2回); 原子力産業の国際展開について: 三又裕生, 826.
- 談話室 常世の国の食と文化—「2010年春の年会特別講演」中川学園調理技術専門学校校長中川純一先生との対談より: 神原千恵, 828.
- 会議報告 第2回シンポジウム「RI 国内製造に向けての開発研究»: 永井泰樹, 829.
- 日本学術会議が遅れている高レベル放射性廃棄物サイト選定問題を幅広く議論: 木村逸郎, 田中 知, 830.
- Relay Essay ドナウ川の畔から(第7回); オーストリア10年の体験: 片岡典子, 831.
- 書評 The New Energy Crisis Climate, Economics and Geopolitics: 関 泰, 832.
- Web アンケート 高速炉サイクルの技術開発に高い関心; 世界の動向をめぐる記事も好評(8月号 Web アンケート結果), 833.
- 会報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 人事公募, 訃報, 英文論文誌(Vol. 47, No. 12)目次, 和文論文誌(Vol. 9, No. 4)目次, 部会便り, 主要会務, 834.
- 後付 総目次(Vol. 52, No. 1~No. 12)・著者名索引

# 日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol. 53, Nos. 1~12 (2011)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

## No. 1 (1月号)

(末尾の太字は通巻ページ数です)

- 巻頭言 放射線科学の統合に向けて：米倉義晴, **1**.  
インタビュー 「過去の成功体験からの脱却が必要」原子力委員会委員 大庭三枝氏に聞く：大橋三枝, **2**.  
時 論 原子力開発と地域振興：入江一友, **7**.  
羅 針 盤 「電子紙芝居」の落とし穴：伊奈久喜, **9**.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **10**.  
会 告 新法人移行に伴う代議員選挙に係わる代議員候補の推薦について：日本原子力学会選挙管理委員会 委員長 工藤和彦, **20**.  
シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第25回)；放射線科学を支える研究基盤技術—細胞から宇宙までを対象にした開発研究：日下部正志, 白川芳幸, **21**.  
新刊紹介 エネルギー問題！：佐田 務, **25**.  
解 説 匠たちの足跡(第3回)；輝かしきバイオニア研究炉の軌跡—王禅寺センタ今昔物語：蒲生秀穂, 富永研司, 青井正勝, **26**.  
みんなでわかつこうシリーズ 時空の創生：超弦理論から原子核へ；3. 陽子・中性子=仮想高次元重力：橋本幸士, **31**.  
放射性廃棄物処分の放射線防護の最適化；処分システムの頑健性確保に係るガイドラインの策定に向けて：川上博人, 青木広臣, 鈴木篤之, **36**.  
水の新たな姿を明らかに；高温高圧領域への挑戦：池田隆司, 片山芳則, **42**.  
「重い電子」が作るフェルミ面の共鳴角度分解光電子分光法による直接観測；磁性と共存する超伝導の機構解明への糸口：岡根哲夫, **45**.  
特別寄稿 『日米原子力協定(1988)の成立経緯と今後の問題点』(遠藤哲也, 国際問題研究所, 2010)を巡って：坂田東一, **48**.  
From Editors, **49**.  
連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第6回)；JAEAの高速炉体系炉物理実験：岡嶋成晃, **50**.  
解 説 原子力外交シリーズ(第3回)；原子力協定：長沼善太郎, 遠藤哲也, **56**.  
活動報告 日本エネルギー環境教育学会第5回全国大会概要報告：藤本 登, **58**.  
研究者とともに学び, 体験する；地層処分をテーマに親子ワークショップ：郡司郁子, **60**.  
会議報告 ダイアの原石発掘プロジェクト；WiN-Japan 女子大生交流会 in 自由が丘：森崎利恵子, 上西紗耶加, **61**.  
応用加速器・関連技術研究シンポジウム(ARTA 2010)報告からの話題紹介；医療と先端科学技術開発への応用トピックス：服部俊幸, **62**.  
安全かつ安心な放射性廃棄物処分の実現に必要な長い道のりと広いつながり；第13回環境修復・放射性廃棄物管理国際会議(ICEM 2010)：北村 暁, 武田聖司, **63**.  
談 話 室 OECD/NEA 原子力施設安全委員会を目指したもの：阿部清治, **64**.  
不定期連載 未来型リーダーシップを拓く⑤；日韓サマーセミナー「保健物理・環境科学2010」印象記—20年後のアジアにおける原子力研究の担い手が苦楽を共にした一週間：里藤裕隆, **66**.  
Relay Essay ドナウ川の畔から(第8回)；私の周りをウィーンが回る：伊東明美, **68**.  
Web アンケート 社会受容性に言及したレアメタルの記事に高い関心；表紙の新シリーズも好評(9月号のWeb アンケート結果), **69**.  
ジャーナリストの視点 伝えたい平和利用の使命感と誇り：鈴木誠之, **70**.  
追 悼 内藤奎爾先生の逝去を悼む：松井恒雄, **71**.  
会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 支部便り(関東・甲越支部), 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.48, No. 1)目次, 主要会務, **72**.

## No. 2 (2月号)

- 巻頭言 原子力発電立地県における技術者の育成：城野政弘, **79**.  
時 論 日本の外交・安全保障戦略の観点からみたベトナム原子力プロジェクト：畔蒜泰助, **80**.  
原子力立地地域との相互理解：森本英雄, **82**.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, **84**.  
解 説 「国際原子力開発」ベトナムの原子力発電導入に向けて；官民一体となった受注活動の経緯：高橋祐治, **92**.



- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第26回)；低線量影響としての放射線適応応答—放射線防護へのインパクト：王 冰，Guillaume VARES，根井 充，酒井一夫，96.
- 解説 原子力利用の一つである「放射線滅菌」について；量子ビームテクノロジーの有効活用の実例：隅谷尚一，102.
- 解説 匠たちの足跡(第4回)；プルトニウム転換技術開発施設—マイクロ波加熱直接脱硝法による世界初の混合転換プロセスの実用化：吉元勝起，107.
- 報告 「災害の防止」の歴史的考察と法の在るべき姿；原子炉等規制法の「災害の防止」は放射線「障害の防止」から始まった：西脇由弘，112.
- 会議報告 原子力法制システムの国際化の潮流；シンポジウム「原子力法制システムの改革に向けて」概要：諸葛宗男，菅原慎悦，117.
- 報告 高速増殖炉燃料設計が取り扱うべき範囲と内容：中江延男，馬場利和，上村勝一郎，118.
- Asian Nuclear Prospect(ANUP)-2010に参加して；インドの基礎基盤技術の蓄積と実用高速炉開発が現実に：田中知，井上 正，池田泰久，123.
- 講演 国際的な不拡散・保障措置・核セキュリティの動向；我が国の果たすべき役割についての考察のきっかけとして：木村直人，125.
- オイルピーク；正味に使えるエネルギーの今後：天野 治，129.

**From Editors, 132.**

- 連載講座 実験炉物理：未来へのメッセージ—次世代の安全基盤の確立に向けて(第7回；最終回)；実験と解析の接点：山本章夫，133.
- 書評 解析的延長がわかれば特殊相対論がわかる：仁科浩二郎，138.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第11回) UAE 編；アラブ首長国連邦(UAE)の原子力事情：齊藤健彦，139.
- 会議報告 『Top Fuel』から見る燃料開発の最先端：山崎正俊，144.
- ジャーナリストの視点 「原子力」が持つ二面性：太田匡彦，145.
- 会告 新法人移行に伴う代議員選挙について(投票のお願い)：146.
- 会報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，記事訂正，意見受付公告について，英文論文誌(Vol.48, No.2)目次，主要会務，146.

No. 3 (3月号)

- 巻頭言 熟議による政策形成に向けて：鈴木 寛，155.
- 時論 あらゆる可能性の検討が必要な日本のレアアース対策：平沼 光，156.
- 羅針盤 尋常ならざる事態を知る：湯浅 博，158.
- インタビュー 「持続的発展に高速増殖炉は不可欠！」ジャック・ブシャル氏に聞く：Jacques BOUCHARD，澤田哲生，159.
- NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報，165.
- 特集 原子力発電所における耐震とは何か，173.
- 耐震安全性確認のための地質調査：杉山雄一，174.
- 耐震設計審査指針とバックチェック：入倉孝次郎，179.
- 原子力発電施設の耐震設計：西川孝夫，185.
- 機械・電気設備への影響評価：野本敏治，189.
- FOCUS 原子力安全・保安院の10年の歩み；主要な活動の紹介を中心として：原子力安全・保安院 原子力安全広報課，194.
- 原子力安全・保安院の10年間と今後について：寺坂信昭，200.
- 原子力安全・保安院の思い出と期待：佐々木直彦，201.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第27回)；医療用放射性同位元素の製造と利用展開—新しい視点からの放射性同位元素利用：藤林靖久，202.

**From Editors, 205.**

- 解説 次世代軽水炉(HP-ABWR/HP-APWR)の開発状況；中間評価と今後の開発計画：笠井 滋，遠山 真，守屋公三明，飯倉碩彦，206.
- 講演 フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(1)高速炉開発におけるトラブルと開発への影響：此村守，211.
- 新刊紹介 地球システム環境化学：長尾誠也，214.
- 講演 フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(2)開発段階の高速炉の安全評価と規制の役割：遠藤寛，215.
- フェニックスから「もんじゅ」へ；高速炉開発と日本の役割—(3)小型炉市場・4S開発現状・原子力GDPモデル：飯田式彦，219.
- 私の主張 なぜCFD検証を日本の国家戦略として進めなくてはならないか？(CFD4NRS-3)：岡本孝司，223.
- 活動報告 アクチノイド元素の化学・物理実習を体験；J-ACTINET サマースクール2010：上原章寛，225.
- 会議報告 2010日本放射化学学会年会・第54回放射化学討論会報告：篠原 厚，笠松良崇，226.

- 原子力分野におけるスーパーコンピューティングとモンテカルロ・シミュレーション：森 貴正，中島憲宏，227.
- Web アンケート 原子力・放射線教育に高い関心；海外の動向に関する記事も好評(10月号の Web アンケート結果)，228.
- 原子力外交や科学技術の戦略に高い関心；表紙の新シリーズは好評(11月号の Web アンケート結果)，229.
- ジャーナリストの視点 未来を見据えた2つの提案：山崎淑行，230.
- 「2011年春の年会」の見どころ，231.
- 会 告 平成23年度新役員候補者募集のお知らせ，236.
- 会 報 学術的会合の予定，人事公募，第23回平成23年度派遣学生募集，「2011年春の年会」見学会のご案内，英文論文誌(Vol.48, No.3)目次，主要会務，236.

#### No. 4 (4月号)

- 巻 頭 言 最近思うこと：北野 大，243.
- 時 論 核不拡散・核セキュリティ技術開発について：菊地昌廣，244.
- 海水ウランと科学法濃縮による新フロントエンド：常磐井守泰，246.
- N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報，248.
- 解 説 多国間設計評価プログラム(MDEP)とその影響；1. シビアアクシデントを対象とした規制：辻倉米蔵，大島俊之，阿部清治，255.
- From Editors, 262.
- 解 説 核鑑識技術の確立に向けて：久野祐輔，桜井 聡，堀 雅人，263.
- シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第28回)；放射線医学総合研究所における重粒子線がん治療の現状：鎌田 正，268.
- 解 説 匠たちの足跡(第5回)；日本のラジオアイソトープ製造の基礎を築いたRI棟—国産RI製造拠点として貢献：山林尚道，棚瀬正和，源河次雄，272.
- 新刊紹介 君は原子力を考えたことがあるか；福井県原子力行政40年私史：竹田敏一，277.
- 報 告 事故やトラブル時にどう対応するか？—原子力安全・保安院「緊急時対応センター」(ERC)について：前川之則，278.
- シニアネットワーク第11回シンポジウム報告；我が国のこれからのエネルギー政策はどうあるべきか—原子力にどこまで期待できるか：金氏 顕，林 勉，283.
- アクチノイド・マネジメントに必要な炉物理実験；「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」研究専門委員会活動報告：岩崎智彦，287.
- ATOMOS Special 世界の原子力事情(第12回) 東欧編；ウクライナ—チェルノブイリを超えて：杉本 純，292.
- 談 話 室 大学等の専門家と中学校・高等学校の連携強化はいかにあるべきか？—第5回放射線教育セミナーの考察と今後の活動：古田雅一，294.
- 立地地域からみた原子力：山田治之，296.
- 組織で活躍する女性を育てるためには；北海道大学大学院 農学研究院・生命科学院 有賀早苗先生のご講演を聞いて：小川順子，297.
- 会議報告 核融合で広がるトリチウム研究の国際化；第9回トリチウム科学技術国際会議 TRITIUM 2010：宇田達彦，298.
- 原子力熱流動と安全に関して日韓で活発に議論：大野修司，299.
- 活気を見せる東南アジアの原子力開発：白川智章，300.
- Web アンケート 原子力外交や科学技術の戦略に高い関心；表紙の新シリーズも依然として好評(12月号の Web アンケート結果)，301.
- 全体の構成とデザインが好評；科学技術報として役立つようにとの期待も(1月号の Web アンケート結果)，302.
- ジャーナリストの視点 合理性なき安全審査の悲劇：江刈内雅史，303.
- 日本原子力学会「2011年秋の大会」研究発表応募・参加事前登録のご案内，304.
- 会 報 学術的会合の予定，主催・共催行事，人事公募，「第43回(平成22年度)日本原子力学会賞」受賞一覧，平成22年度(第4回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者一覧，平成23年度「シルバー会員」・「永年会員」の表彰，日米欧学生交流派遣レポート ANLで核計算コードに取り組む：竹田 敏，英文論文誌(Vol.48, No.4)目次，主要会務，305.

#### No. 5 (5月号)

- FOCUS 東日本大震災 緊急提言—福島第一原子力発電所事故対応に向けて：石川迪夫，315.
- 福島第一原子力発電所で事故が発生—事故の概要と経緯：編集委員会，318.
- 福島発電所事故の放射線のレベルについて—公表されている放射線量はどのような意味を持つのか，320.
- 被ばくの仕方と人体への影響，321.
- 内部被ばくについて，321.
- 遠隔地被ばくについて，322.
- 食と住居について，323.

原子力学会の活動, 324.

福島第一原子力発電所の各プラントのデータ(保安院資料), 325.

巻頭言 オペラ「白虎」: 角山茂章, 327.

羅針盤 巨大地震が見せた日本社会の脆弱性: 宇恵一郎, 328.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 329.

シリーズ解説 我が国の最先端研究開発(第29回/最終回); 社会基盤としての緊急被ばく医療: 明石真言, 蜂谷みさを, 富永隆子, 立崎英夫, 鈴木敏和, 山田裕司, 336.

解説 事象の重要性を公衆に伝えてきた INES—20周年となった国際原子力・放射線事象評価尺度: 阿部清治, 八木雅浩, 344.  
多国間設計評価プログラム(MDEP)とその影響; 2. 世界標準と安全設計: 佐藤 崇, 349.

解説 匠たちの足跡(第6回); 東京大学電子ライナック施設: 上坂 充, 勝村庸介, 田川精一, 356.

From Editors, 360.

報告 原子力報道に携わる記者へのインタビュー調査について: 土田辰郎, 361.

INIS データベースの利用; 研究者, 技術者が求める情報ツールとは?: 権田真幸, 中嶋英充, 366.

解説 原子力外交シリーズ(第4回); 保障措置の現状と我が国の課題: 木村直人, 370.

Nuclear News を見て 核不拡散施策の現状と課題; 核不拡散特別委員会(SCNN)の特集記事を読んで: 内藤 香, 372.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第13回) 東欧編; スロベニア—原子力発電所のある世界最小の国: 杉本 純, 374.

私の主張 学生の視点から見た“分野融合的”教育; 国際舞台で活躍する原子力エンジニア育成のための提案: 成川隆文, 376.

談話室 親日的な台湾との核能交流: 宅間正夫, 金氏 顯, 378.

会議報告 大学における原子力基礎研究「複合原子力科学」の発展に向けて; 公開シンポジウム「原子力・放射線の有効利用に向けた先導的研究の推進」: 川端祐司, 380.

会報 学術的会合の予定, 人事公募, お知らせ, 英文論文誌(Vol.48, No.5)目次, 主要会務, 381.

後付 第43回(平成22年度)日本原子力学会賞受賞概要

## No. 6 (6月号)

解説 東日本大震災に伴う原子力発電所の事故と災害; 福島第一原子力発電所の事故の要因分析と教訓: 奈良林 直, 杉山 憲一郎, 387.

FOCUS 東日本大震災 東日本大震災に思う: 佐藤一男, 401.

時論 放射線の健康影響の説明の難しさ; 原子力災害に関係してきた医師として: 長瀧重信, 402.

福島第一原発事故とコミュニケーション: 小出重幸, 404.

福島第一事故からの「学び」: 北村正晴, 406.

談話室 放射能汚染に思う; もっと放射能についての英知を集めることはできないのだろうか: 中西友子, 408.

燃料はいつどのようにして壊れたのか?; 福島第1原発1号機の燃料のふるまいについて: 中江延男, 410.

学会誌アーカイブ チェルノブイリ事故の医学的影響: 長瀧重信, 山下俊一, 412.

チェルノブイリ事故後の環境影響: 杉浦紳之, 419.

FOCUS 原子力学会の「原子力安全」調査専門委が始動, 426.

技術分析分科会が1~3号機の現状を推定, 426.

INES 評価のレベル7への引き上げについて, 428.

被曝による健康への影響と放射線防護基準の考え方について, 428.

学会の有志チーム, 汚染水処理に役立つ吸着剤のデータを収集, 430.

学会の技術分析分科会が, 福島事故で教訓と対策を提示, 431.

巻頭言 仁科芳雄博士生誕120周年にあたり: 山崎敏光, 434.

NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 435.

会告 一般社団法人 日本原子力学会「第1回総会」のご通知, 443.

解説 ガラスとは何か?—その性質と利用方法; 放射性廃液の固化への応用: 作花済夫, 444.

Nuclear News を見て 米国における燃料破損ゼロ化活動: 黒崎 健, 山中伸介, 449.

談話室 中国版“科学技術サミット”香山科学会議第389回に参加して; 核燃料再処理における放射化学の課題について徹底討論: 小澤正基, 韋 悦周, 451.

活動報告 学生が学生に伝えたい—「原子力・エネルギーに関する課題研究コンクール」でのサポート活動: 正木基夫, 大川修平, 453.

新刊紹介 電気のごみ; 高レベル放射性廃棄物: 松浦祥次郎, From Editors, 454.

Web アンケート 原子力の持つ二面性に高い関心; 原子力立地に関連する記事も好評(2月号の Web アンケート結果), 455.

耐震設計の重要性は認識されていたが; 福島原発事故の対応と十分な検証を(3月号の Web アンケート結果), 456.

ジャーナリストの視点 農業と原子力: 鈴木祐子, 457.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 意見受付公告について, 記事訂正, 英文論文誌 (Vol.48, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.10, No.1, No.2) 目次, 主要会務, 458.

## No. 7 (7月号)

**Focus 解説** リスク学から見た福島原発事故: 木下富雄, 465.

福島原発で起きた原子炉建屋の損傷; なぜ水素爆発が起きたのか: 内藤正則, 473.

福島第一原発事故の大気を介した環境影響; 環境影響の全体像把握に向けた第一歩: 山澤弘実, 平尾茂一, 479.

緊急時環境モニタリングの考え方; 原子力安全委員会指針から: 下 道國, 484.

福島第一事故後の諸外国の原子力開発政策: 村上朋子, 489.

**FOCUS** IAEA が福島事故で調査報告, 491.

**巻頭言** 文明の先を見据える: 長谷川真理子, 492.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 493.

**解説** クロスカップリング入門; 基本的な考え方と応用: 秋山勝宏, 499.

**解説** 匠たちの足跡(第7回) 原子力第一船の燃料・炉心; 国産技術の確立: 浜崎 学, 堀元俊明, 嶋田昭一郎, 石丸正之, 503.

**報告** 世界原子力大学へ行こう!: 大釜和也, 荻野晴之, 佐藤隆彦, 鈴木彩子, 509.

**From Editors**, 513.

**解説** 原子力外交シリーズ(第5回①) 2010年 NPT 運用検討会議と今後の課題: 武藤義哉, 514.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第14回) 東欧編; チェコ隣国オーストリアとの対話: 杉本 純, 517.

**談話室** 用語「原子力」はガラパゴス: 田上 嵩, 519.

**会議報告** 力を蓄えた原子力の基礎科学・基礎工学—着実な展開の確認; 「第3回革新的原子力エネルギーシステム国際シンポジウム」概要: 赤塚 洋, 加藤之貴, 521.

原子力発電技術の進歩に関する国際会議; 議論は「Fukushima Daiichi, International Response and Global Perspective」に集中: 藤井澄夫, 522.

**新刊紹介** 確率論的リスク解析の数値と方法: 吉田智朗, 523.

放射性廃棄物の工学: 出光一哉, 523.

**Web アンケート** 福島原発事故に対する学会の役割に期待; 世界への正しい情報発信が必要との声も(4月号の Web アンケート結果), 524.

「FOCUS」に情報共有として高い期待が; 内容についての要望も多く(5月号の Web アンケート結果), 525.

**ジャーナリストの視点** もう一つの原発震災—すべての被災者に目を: 斎藤義浩, 526.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧, 英文論文誌 (Vol.48, No.7) 目次, 主要会務, 527.

後 付 一般社団法人 日本原子力学会「第1回総会」議事原案

## No. 8 (8月号)

**巻頭言** 国民の信頼を回復するためには, われわれの総力の結集を: 住田健二, 531.

**あいさつ** 日本原子力学会が会員, 社会から誇りを持たれる宝になれるように: 田中 知, 532.

**NEWS** 原子力界における最近の動き・海外情報, 533.

**解説** 福島第一原子力発電所事故から学ぶ: 二ノ方 壽, 岡本孝司, 540.

ポスト3.11時代の科学技術コミュニケーション; 社会は原子力専門家を信頼できるのか: 八木絵香, 546.

福島第一発電所の原子炉燃料に何が起こったか; 炉心露出事故時の燃料のふるまい: 藤城俊夫, 550.

軽水炉燃料崩壊熱のふるまい; 福島第一発電所の崩壊熱挙動理解のために: 吉田 正, 555.

**Focus 解説** 長期的な海洋環境影響は? ; 福島第一原子力発電所からの放出放射能の長期的海洋拡散シミュレーションと海産物摂取による内部被ばく評価: 中野政尚, 559.

**解説** 福島第一原子力発電所の事故に係わる放射線影響分科会の活動報告, (I); 放射線被ばくに係わる汚染状況に関する情報の整理と提言: 「原子力安全」調査専門委員会放射線影響分科会, 564.

原子力推進を堅持する米仏, 撤退するドイツ; 福島事故後, 情報共有と教訓反映を図る国際機関と欧米: 北村隆文, 花井 祐, 佐藤一憲, 569.

**連載講座** 「材料が支える原子力システム」の開始にあたって: 四竈樹男, 576.

**連載講座** 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第1回); 軽水炉用ステンレス鋼: 福谷耕司, 577.

**解説** 原子力外交シリーズ(第5回②) 包括的核実験禁止条例(CTBT)及び兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT): 武藤義哉, 582.

**コラム** 放射線の人体影響についての Q&A: 岩崎民子, 585.

**会議報告** Workshop on Decay Spectroscopy at CARIBU: 河野俊彦, 587.

**ATOMOS Special** 世界の原子力事情(第15回) 東欧編; ルーマニア—CANDU 炉で国内ウランを有効活用: 杉本 純, 588.

Web アンケート 原子力学会に叱咤激励の声が；世界に向けた情報発信に多くの期待(6月号の Web アンケート結果), 590.  
ジャーナリストの視点 「言葉の備え」を問う：福井由紀子, 591.  
追悼 元会長山本寛先生のご逝去を悼む：鈴木篤之, 592.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 平成23年度役員紹介, 「第44回(平成23年度)日本原子力学会賞」受賞候補者の推薦募集, 記事訂正, 英文論文誌(Vol.48, No.8)目次, 主要会務, 593.

### No. 9 (9月号)

巻頭言 東日本大震災と原子力発電に思うこと：泉田裕彦, 597.  
時論 福島事故と世界の対応：鈴木達治郎, 598.  
ANS 2011年6月フロリダ・ハリウッド：松井一秋, 600.  
特別企画 福島原発事故についてのANS受け止め方；ANSの主要メンバーはこの事故情報をどう捉えたか：二ノ方 壽, 602.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 604.  
解説 福島第一原子力発電所事故の分析と今後に向けて：山口 彰, 610.  
福島第一原子力発電所事故による放射性物質の汚染からの環境修復に向けて：井上 正, 高橋史明, 諸葛宗男, 617.  
From Editors, 622.  
解説 環境における放射性核種の分布と動態；1. 土壌における放射性核種の挙動特性：内田滋夫, 田上恵子, 石井伸昌, 623.  
JCO 臨界事故の教訓は生かされたか；原子力防災について考える：中島 健, 628.  
From Abroad Reaching First Criticality and Physics Experiments in the CEFR: Xu Mi, Yu Hong, Hu Yun, Chen Yiyu, 633.  
連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第2回)；高速炉炉心用改良ステンレス鋼：井上利彦, 山県 一郎, 浅賀健男, 638.  
解説 匠たちの足跡(第8回) BWR クラッド問題の解決と水化学対策への貢献：目黒芳紀, 643.  
解説 産官学による原子力人材育成ネットワークの設立；原子力界を支える人材の確保をめざして：村上博幸, 649.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第16回) 東欧編；ブルガリア—ベレネ原子力発電所を建設中：杉本 純, 652.  
談話室 「原子力がひらく世紀」改訂3版の編集を終えて：熊谷 明, 654.  
飯館村訪問記—みんなで作っぺ！：澤田哲生, 656.  
会報 学術的会合の予定, 人事公募, 記事訂正, 英文論文誌(Vol.48, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.10, No.3)目次, 主要会務, 658.

### No. 10 (10月号)

巻頭言 本音の議論を：矢川元基, 663.  
時論 南相馬の放射線教育：秋庭悦子, 664.  
緊急被ばく医療から健康リスク評価へ；長崎から福島への4ヶ月：松田尚樹, 666.  
NEWS 原子力界における最近の動き・海外情報, 668.  
連載 東日本の巨大地震に学ぶ(1)；プレート収束域にできた日本列島：尾池和夫, 675.  
解説 福島原発事故と放射線健康リスク：山下俊一, 678.  
From Editors, 683.  
解説 環境における放射性核種の分布と動態；2. 河川系における放射性核種の移行特性—チェルノブイリ事故研究等からの知見：松永 武, ユーリ トカチェンコ, 684.  
食品中の放射能濃度の簡易測定法；NaI(Tl)シンチサーベイ測定における留意点は何か？：佐々木道也, 689.  
原子力の研究開発機関におけるメンタルヘルス；産業医としての関わりから：友常祐介, 松崎一葉, 693.  
原子力損害賠償制度を見つめ直す；制度の背景, 仕組みとその課題：富野克彦, 698.  
報告 チェルノブイリから25年；クルチャトフ研究所ベリホフ総裁 レベル7の事故を語る：桜井久子, 701.  
談話室 広島から福島へ；From Hiroshima (Wide Islands) to Fukushima (Happy Islands)：澤田哲生, 703.  
ジャーナリストの視点 福島への被災者は怒る, 問う, 求める：寺島英弥, 705.  
解説 福井県における原子力教育・研究開発：竹田敏一, 来馬克美, 一宮正和, 鈎 孝幸, 706.  
連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第3回)；Ni基合金：米澤利夫, 710.  
ATOMOS Special 世界の原子力事情(第17回) 東欧編；スロバキア—仏に次ぐ世界第2位の原子力割合：杉本 純, 716.  
談話室 文系の子学生から見た原子力：渡邊早紀子, 718.  
新刊紹介 よくわかる身のまわりの現象・物質の不思議：藤本 登, 719.  
Web アンケート 福島原発事故に対して広い分野の情報提供に期待；多視点からの検証に期待の声も(7月号の Web アンケート結果), 720.  
原発事故の事実を知りたいという大きなニーズが；信頼回復に向けた活動を望む声も多く(8月号の Web アンケート結果), 721.  
日本原子力学会「2012年春の年会」研究発表応募・参加事前登録のご案内, 722.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 記事訂正(再掲), 英文論文誌(Vol.48, No.10)目次, 主要会務, 726.

### No. 11 (11月号)

巻 頭 言 科学の不確実領域と社会: 山地憲治, 727.

時 論 ヤッカマウンテン処分場計画の終焉と今後: 安 俊弘, 728.

台湾の原子力動向と日本: 林 勉, 730.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 732.

連 載 東日本の巨大地震に学ぶ(2); 世界の変動帯と安定大陸: 尾池和夫, 739.

解 説 原子力損害賠償紛争審査会について; 中間指針策定の作業と今後の課題: 高橋 滋, 742.

シビアアクシデント対策整備の経緯と「残余のリスク」: 平野光将, 748.

From Editors, 754.

解 説 環境における放射性核種の分布と動態; 3. 海洋に人工放射性核種の動態; 福島原発由来核種は海洋でどう動くか?: 日下部正志, 755.

日本人の食物摂取による実効線量の評価; 過去の調査結果からわかること: 真田哲也, 760.

報 告 我が国の原子力の法規制と組織に関する考察; 福島第一事故の教訓を踏まえて: 西脇由弘, 765.

安全の構築に向けて—東日本大震災より明らかになった課題と安全再構築の視点; 「安全工学シンポジウム2011」パネル討論より: 松岡 猛, 770.

解説シリーズ 「ヒューリスティックな最適化手法とモデリング」の開始にあたって: 相吉英太郎, 岡本 卓, 小林容子, 776.

解説シリーズ 「ヒューリスティックな最適化手法とモデリング」(第1回); 最適化問題とは: 相吉英太郎, 岡本 卓, 小林容子, 777.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第4回); 低合金鋼: 木村晃彦, 782.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第18回) 東欧編; ハンガリー—パクス原子力発電所増設の動き: 杉本 純, 787.

Web アンケート 原発事故の事実を知りたいという大きなニーズが; 信頼回復に向けた活動を望む声も多く(9月号のWebアンケート結果), 789.

会 報 学術的会合の予定, 主催・共催行事, 奨学金基金寄付者追加, 英文論文誌(Vol.48, No.11)目次, 主要会務, 790.

### No. 12 (12月号)

巻 頭 言 堂々と逆風に立ち向かい原子力の前進を!: 宮崎慶次, 793.

時 論 今こそ深層防護の安全哲学の深耕を: 諸葛宗男, 794.

福島第一原発事故を受けて—反省と今後の在り方: 木村逸郎, 796.

データの奔流の中での“問合い”: 岩田修一, 798.

N E W S 原子力界における最近の動き・海外情報, 800.

連 載 東日本の巨大地震に学ぶ(3); 地震と噴火と津波の国: 尾池和夫, 806.

解 説 東京電力福島第一原子力発電所の事故による衣服の放射性汚染; 汚染状況の測定と簡易除染法の検討: 中里一久,

北 実, 松田尚樹, 809.

福島第一原子力発電所事故による放射性物質により汚染した廃棄物; 廃棄物に含まれる放射性物質の数量と関係法令: 二ツ川章二, 813.

福島原発事故で汚染した野菜はどれくらい放射能除去できるのか? ; 日本放射線安全管理学会が汚染除去をテーマに研究報告: 柴 和弘, 817.

福島第一原子力発電所事故時の災害初期対応の教訓; 放射線情報の把握と活用に関連して: 占部逸正, 821.

原子力安全規制庁の組織および職員に関する要件; 福島第一原発事故の再発防止のために: 森本俊雄, 澤田哲生, 826.

欧州型発電所の非常時電源と事故緩和ベント; 原子力の信頼性向上策と福島国際センター設立の提案: 杉山憲一郎, 831.

福島事故に対する欧米の対応; 欧州の中間報告と米国で緊急対応必要なしの報告: 水町 涉, 836.

原子力協定の下で高速炉協力をを行うための要件とは; 日本とカザフスタンの高速炉に関する取極を例に: 河口宗道, 841.

連載講座 材料が支える原子力システム—より高い信頼性のために(第5回); 軽水炉燃料部材に用いられるジルコニウム合金: 栄藤良則, 土内義浩, 845.

ATOMOS Special 世界の原子力事情(第19回) 東欧編; リトアニア—4ヶ国で新原子力発電所建設計画: 杉本 純, 850.

会議報告 中国で開催された軽水炉燃料の専門家会合の概要: 坂本 寛, 杉山智之, 852.

Web アンケート 「分かりやすい」「正確な」情報が重要; 原子力ムラとの批判に対する学会からの発信にも期待(10月号のWebアンケート結果), 853.

ジャーナリストの視点 鳴らせなかった警鐘: 大崎要一郎, 854.

会 報 学術的会合の予定, 人事公募, 平成24年度フェロー候補推薦募集, 編集委員会からのお知らせ「英文論文誌の Taylor & Francis 社からの出版について」, 英文論文誌(Vol.48, No.12)目次, 和文論文誌(Vol.10, No.4)目次, 主要会務, 855.

後 付 総目次・著者名索引(Vol.53, NOS.1~12)